

## 子ども子育て審議会 専門部会報告（利用者負担額）

## ＜委員からの主な御意見＞

## ■多様な子育てを想定した公平性の担保

- \* 保護者が負担している額は幼稚園・保育園ともほぼ同じであるが、市の投入額は保育園が圧倒的に多い。パートなどで働きながら幼稚園に通っている保護者の方もいるので、このあたりが平等になるとよいと思っている。
- \* 幼稚園と保育園のどちらに子どもを預けるのかで補助が異なるというのは、保護者にとっては大変なことなので、少しずつでも是正していく必要があると思う。
- \* 認証保育所にも、多額の保育料を支払って通っていただいている方もいるので、幼稚園等と同様に考えていっていただきたい。
- \* 公立保育園のことに接する機会がないので、資料を見て驚いている。利用者の方々の感覚も、公立と私立では違うように思う。認証保育所では、高い利用料をいただいて保育しているが、公立との仕組みの違いには驚くばかりである。
- \* 全体的な公平感からすれば、大変な負担をしているのは、幼稚園や認証保育所の方で、認可保育所に入っていない方々だと思う。
- \* 幼稚園や認証保育所に通っている方との負担の割合なども総じて考えると、値上げもやむを得ないのではないだろうか。
- \* 在宅で育てている方との格差を、意識していただきたい。負担感・孤立感のある方は、教育施設・保育施設に通っている方よりも多いので、いろいろな育て方をしている人のことを思っしてほしい。今回の議論とは離れるが、そういった方への支援に、より多くの公費を投じてほしいと思っている。

## ■多様な家庭を想定した公平な負担感

- \* 国の制度の中に私たちがいて、限られた資源を用いて、一時保育や子育て相談など、一歩ずつ頑張っている状態である。国や東京都の支援が減る一方、市町村の負担割合はどんどん増えている。限られた予算の中で、ある程度の格差が出るのはやむを得ないと思うが、どうにか均衡点を探っていきたい。
- \* 階層別の負担割合を考えるのは、とても大切な視点だ。
- \* 適切な保育料を考えるのは、非常に難しい。所得の低い方への支援は必要だが、そのために他の世帯に負担がかかっているのも、所得があることがすなわち豊かである、ということでもないと思う。一定の所得のある方々は、朝早くから仕事をしつつ家事と子育てをして全力で頑張っている方々で、一番負担がかかっている世帯だと思う。全体の分布としては数が多いので目立つが、所得があるので値上げする、とつなげるのは、難しいように思う。
- \* 公平感をどこまで求めていくのかが、難しいと思う。一番世帯の多い階層は、就労時間が長い方が多く、責任のある仕事もある中で保育をお願いしている状態である。必死に働いて頑張っ

- \* 自己実現のため働いている方もいるが、生活を維持するために朝から晩まで必死に働いている方もいて、応能負担と持続可能な保育制度とのバランスをどのようにとっていくのかは、とても難しい課題だ。
- \* 値上げについて育成料と決定的に違うのは、応能負担があることで、保護者同士のせめぎ合いが出てきてしまう。親同士のせめぎ合いは、してはいけないものの、乗り越えて理解していかざるを得ないところでもある。
- \* いきなり1年で目標額に値上げするのではなく、毎年少しずつ値上げしたり、数年ごとに分割して値上げしたりして最終的に目標値を目指す自治体もあるので、値上げの方法についても多様な手法を考慮する必要がある。
- \* 値上げの議論はこれまではなく、財政状態が悪くなってきたから急に挙げられた話で、利用者の方も驚くだろう。今後は、公平感を保つために、一定の基準で毎年度スライドするような値上げ方法にしてほしい。

## ■ 質の確保

- \* 新制度は、すべての子どもは平等であるという視点でつくられた。本来は、負担ができない場合には支えようという話のはずで、元々のデコボコな金額の高低をどのように埋めるかという話である。公費がこれだけ使われているということを、つまびらかにしていただき、デコボコを平にならすとともに、質を上げることにお金をつかいませんかという議論になればと思う。まずは量を確保ということはよくわかるが、質についても同時に考えていけば、市民の方からも御了解いただけると思う。
- \* 利用者の方々は、保育料が上がれば、その分サービスが増えると思うだろう。
- \* 待機児童対策としての値上げの必要性はわかるが、今入所している人にとっては、待機児童対策は対象外であり、値上げが自分たちに直接関係しないように感じるのではないか。このような方々への説明は難しい。現在の利用者への値上げ還元として、事務的な面で保育士の負担を減らし、保育の質を上げることが考えられる。例えば、IDカードの導入が考えられる。集計に労力を費やしていた分を、子どもに集中して保育していただけるようになるのではないかとと思う。

## ■ 市の説明責任・広報・周知

- \* 市は保護者の負担を肩代わりしているが、市が支えているということを、もっと広報した方がよい。
- \* 市民の方は、国・市・保護者の負担割合を御存じなのか。近隣市の保育料との比較や、幼稚園と保育園との比較について、市民の方が、どのようにとらえるのかが重要だと思う。
- \* 値上げがなぜ必要なのかを、丁寧に説明していくことの重要性を感じた。
- \* 市民への説明としては、市の財政状況だけではなく、負担が増えた場合に、その料金で何がどう変わるのかを示した資料があるとよいと思う。
- \* 負担を広げて横軸を増やすようなことを検討しているのではなく、負担割合を変えていくための議論なので、市民への周知が重要になるだろう。
- \* A・B階層区分の負担なしについては、福祉的な観点からであるということを理解してもらえるように、説明して行っていただきたい。